

6

外 傷

頭の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 外力が強い場合（スピードのある車や屋根などの高い所から落ちた、野球のバットなどが当たったなど）。
 2. 意識消失があった
 3. けいれんがあった
 4. 受傷後、10分以上泣き続けた
 5. 嘔吐が3回以上あった
 6. 激しい頭痛、または、頭痛が悪化してきた
 7. 首も痛がる（頸椎損傷合併を疑う）
- ※受傷後、48時間は注意して様子を見る。そして8～11に注意。
8. ぼんやりしてくる
ウトウトとすぐに眠ってしまい、起こしてもなかなか起きない。
 9. シャベリにくそうで、言葉がおかしい
 10. 目がかすんだり、物が二重に見えたりする
 11. 歩くとふらつく
手を使うのに不自由である

参考資料 小児頭部外傷

1. 意識障害、神経学的異常所見、けいれん、嘔気・嘔吐がない場合は自宅での経過観察でよい。
2. 受傷直後に一過性に意識障害があっても、6時間以上経過して症状が何もなければ自宅での経過観察でよい。
3. 小児の頭部外傷では、受傷後、数回の嘔吐を繰り返すとアセトン血状嘔吐症の状態と同じようになることがあるので、点滴をしながら経過観察が必要となる。
4. 成人と異なり、生後6ヵ月～1才頃は、畳の上で転んだなどの軽い外傷でも急性硬膜下血腫を生じることがある。架橋静脈の断裂による。貧血、ショック状態になることもあり、早期の治療が必要。初発症状として、けいれん、嘔吐、発熱が多く、他疾患との鑑別が難しい例があるので注意。
5. 幼小児の頭部外傷で、けいれんが頻発する時は、脳挫傷や血腫が存在する可能性が高い。しかし、明らかな脳挫傷がなく、受傷早期に1回のみ起こるようなけいれん発作は予後良好なことが多い。
6. びまん性軸索損傷
主に頭部の回転性加速度損傷で、頭蓋内占拠性病変が見られないのに、受傷直後よりずっと意識消失状態が続き、CTでは所見がわからず、MRIで脳梁や脳幹部にびまん性軸索損傷の所見が見られることがある。

目の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. まぶたの皮膚が裂けている
2. 草刈り機などの使用で、石や金属の破片が高速で目に当たった
3. 物がぼやけて見える
4. 物が二重に見える
5. 涙がなかなか止まらない

鼻の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 皮膚の傷が開いている
2. 押さえて10分以上、鼻出血が止まらない
3. 鼻から透明な液が流れ出て止まらない→頭蓋骨折の疑い。
4. 呼吸するのに鼻の片方がふさがっている→鼻中隔血腫。
5. 鼻が曲がっている→鼻骨骨折、鼻中隔骨折。

鼻出血

小児は、鼻をいじったために小さな傷をつけて起こす場合が比較的多い。

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 20分以上経っても血が止まらない
2. 2才以下の鼻出血

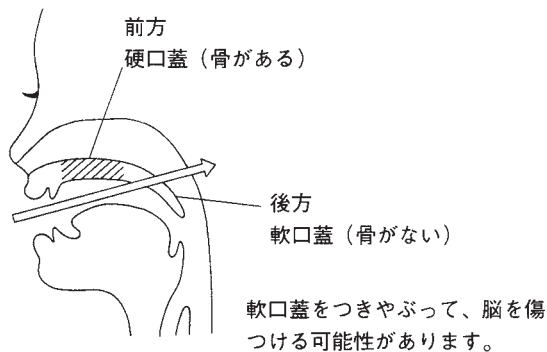
【処置】 座らせて前屈みにし、鼻をつまんで圧迫して、口で呼吸をさせるようにします。



口の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 10分経っても出血が止まらない
 2. 傷が口の後方部分（咽頭後部、扁桃、軟口蓋など）、または場所が不明で、特に、割り箸、鉛筆、フォークなどをくわえて倒れたために傷つけた時に注意→口唇、舌、頬の粘膜、上唇と歯肉の付着部の裂傷は、心配ないことが多い。
- ※動きまわる幼児には、棒状の菓子、鉛筆、フォーク、箸などをくわえさせない事!!



歯の外傷

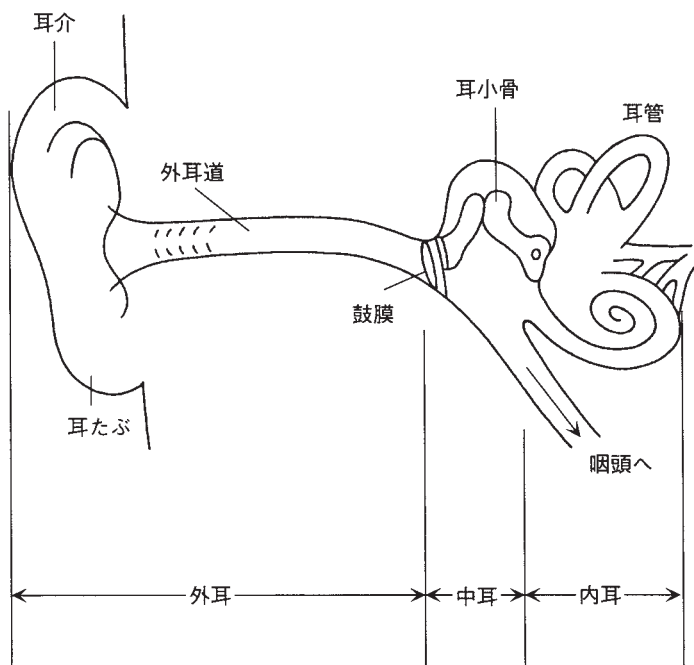
次の場合はすぐに受診して下さい

1. 歯をぶつけて永久歯が抜けた→受傷後30分以内なら再植の成功率が高いので、抜けた歯を牛乳の中に入れるか口腔内に含ませて受診する。脱落歯の乾燥を防ぐことが大切。流水などで洗わないこと。
2. 歯が大きく欠けて歯髓しずいが赤く露出している
3. 10分以上出血が続いている

耳の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 耳痛と難聴がある→平手で耳を打たれた、水に飛び込んで耳を打ったなどのあとは、鼓膜血腫や耳小骨分裂の可能性。
2. 耳道に楊枝や鉛筆などの尖った物を入れて出血した→鼓膜穿孔の可能性。
3. 耳が裂けている、または耳介がひどく腫れて血腫ができている



〈子どもの耳〉

皮膚の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 切り傷

- (1) 10分間圧迫しても出血が止まらない。
- (2) 皮膚が裂けて傷が深い。(特に顔面と手指)

開放創を縫合できるのは、受傷後6～8時間以内です。この時間内に受診しましょう。これを過ぎると、傷の細菌繁殖が始まって縫合ができなくなります。

2. すり傷、こすり傷

- (1) 傷の中に取り切れない汚れがある。
- (2) 体の表面積の15%以上の広いすり傷。

3. 刺し傷

- (1) 頭部、胸部、腹部を刺された。
- (2) 汚れた物で刺されて、傷が汚れている。

指の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 指の爪の下に出血している→指先を何かにはさんで、爪下出血がある場合は、末節骨骨折を伴うことが多い。また、拍動性の強い痛みを伴う。
2. 正常に手を開いたり、閉じたりできない関節がある→骨折の可能性。
3. 球技スポーツによるいわゆる突き指で、変形が強い場合や皮下出血や爪下出血がある場合→骨損傷を伴うことがある。
4. 皮膚が裂けて、直接押さえて10分経っても出血が止まらない時

胸部の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

成人に比べ胸郭が柔軟なため、表面上外傷がなく、骨折がない場合でも、胸腔内に重い損傷を来すことがあるので、外傷がなくとも胸部をある程度強くぶつけた場合。

参考資料

胸腔内損傷

- 呼吸不全を伴う場合
緊張性気胸、大量血胸、心タンポナーデ、動揺胸部
- 呼吸不全を伴わない場合
肺挫傷、気管支断裂、心筋挫傷、大動脈破裂、食道破裂、
外傷性横隔膜ヘルニア

腹部の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

腹部を強く打った場合は、表面に傷がなくとも肝臓、腎臓、脾臓の損傷による腹腔内出血、脾臓損傷による脾炎、消化管損傷による腹膜炎などの可能性がある。

また、当日何でもなくとも腹痛、発熱、貧血などの症状が数日後に出現することがあるので、慎重な経過観察が必要。

骨の外傷

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 骨折が疑われる場合

骨が変形している。

立てない。(体重が支えられない)

痛くて動かせない。傷の近くの関節が動かせない。

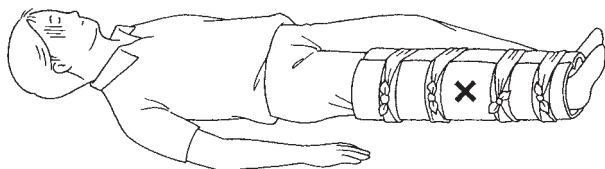
例：鎖骨骨折では、頭の上に手が上げられない。

骨盤骨折では、腰の痛みがあり、起立、歩行ができない。

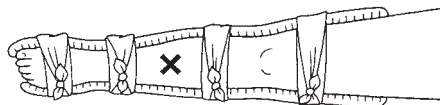
肋骨骨折では、骨折部の鋭い痛みや、呼吸時に伴う痛みがある。

【骨折の応急処置】

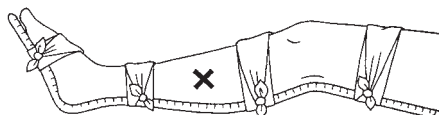
骨折は激しい痛みや腫れがあるため、動かさません。変形があり、骨が飛び出していることもあります。骨折が疑われる場合は、痛がっている所を動かしてはいけません。固定には板やダンボールを使い、骨折部の上下の関節が固定できる長さのものがが必要です。

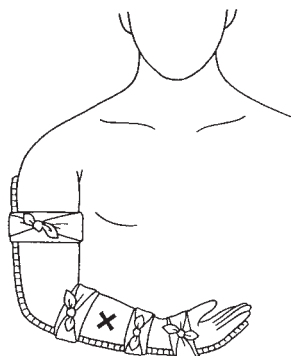


ダンボールなどを使用した、
下肢の固定

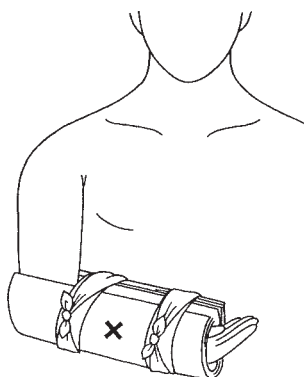


足の固定





腕の固定



雑誌を利用した前腕部の固定

普通、12才以下の小児では、肘内障ちゅうないしょうを除いて脱臼は起こりません。子供が転んで腕を痛がる場合は上腕骨顆上骨折が多く、これは、転んだ時に手をついて肘が過伸長するためです。肘が腫れて痛みも強い場合は整形外科を受診して下さい。

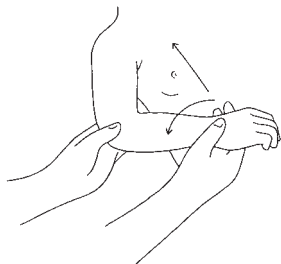
一方、肘内障は上肢をだらんとさせ、肘が動かせなくなります。そのためか、肩がはずれたと思って受診する保護者がよく見られます。はっきりとした原因がわからない場合もありますが、子供（特に2才～5才位）が転びそうになった時に、親が手を強く引っ張った場合に起こりやすいようです。

骨折と違い、肘の腫脹はほとんど見られません。

参考資料

肘内障の整復の仕方（必ず医師が行うこと）

左母指を子供の橈骨小頭部に当て、右手で子供の前腕を持ち、回外させながら肘関節を曲げます。受傷機転が転倒などで肘内節が腫れている場合は骨折の疑いがあります。その場合、絶対に整復処置を行ってはいけません。



動物に咬まれたら

犬・猫・人の場合

犬に咬まれるケースが最も多く、特に15才以下の女の子の唇周辺に集中しています。

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 野犬に襲われた場合や多数箇所咬まれた場合→ショックの危険性。
★指を咬まれた場合には、曲げたり伸ばしたりができるか、よく確認しましょう。腱が損傷している危険性があります。

【応急処置】

温水と石けんで、よく傷口を洗いましょう。表面の傷は小さくても、実際は傷が深いことが多いので、**軽い傷以外は受診しましょう。**

ヘビの場合

毒ヘビでない場合は、咬まれた箇所の痛みや腫れは見られないのが普通ですから、洗浄、消毒をしてから30分ほど様子を見て、腫れがなければ心配ありません。

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 毒ヘビ（マムシ、ハブ、ヤマカガシ）に咬まれた
★毒ヘビに咬まれた時の特徴として、2つ並んだ咬み傷、局所の強い疼痛、腫脹、発疹、嘔吐などが見られる。

【応急処置】

安静にして、咬まれた箇所から5～10cmほどの所をハンカチやベルトなどで縛ります。この時、圧迫しすぎて手足が蒼白にならないように気をつけま

す。以上のような応急処置をしたら、できるだけ早く受診しましょう。**抗毒素血清の効果は6時間以内です。**

蜂の場合

次の場合はすぐに受診して下さい

1. 5箇所以上刺された時。毒性の強さはスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチの順です
 2. 呼吸困難、喘鳴、じんましん、吐き気などの症状が現れた時。このような症状は普通、刺されて30分以内に現れます
- ★まれなケースですが、目を刺された場合は、**すぐに眼科を受診。**

蜂刺（はちさされ）症は7～9月に多く見られます。蜂による死亡という、致死量の毒が体内に入ったためだと思われるでしょうが、実際そのようなケースはあまり見られません。亡くなった人の多くは、過去にも何回か蜂に刺されたことがあり、体がアレルギー状態になっています。そこへ再度、刺されたことによるアナフィラキシーが多いのです。そのためか、死亡例は子供より、40才以上の農林業従事者に多いようです。私自身、1～2箇所刺された小児を20例ほど診察してきましたが、全例とも元気で、アナフィラキシーが見られたことはありません。

まれなケース

- ハムスターに咬まれて、呼吸困難、じんましんなどのアナフィラキシーショックを起こすケース。
- 蚊に刺された箇所が、水疱、全身の倦怠感、発熱などのアレルギー症状を起こすケース。

このような時は、**すぐに受診しましょう。**

異物

目の場合

眼球に突き刺さっていないければ、異物を取って様子を見ましょう。その時、絶対に目をこすってはいけません。小さなゴミであれば、涙と一緒に出てきます。他の異物の場合は、水を入れた洗面器に顔をつけて、目を開けたり閉じたりを繰り返します。これができない場合は、スポイトやきゅうす、やかんに入れた水で、目の内側(鼻側)から外側へ10分くらい洗い流し続けましょう。

次の場合はすぐに受診して下さい

1. ガラスなどの破片が刺さった
2. 科学薬品が飛び散って入った（目に強い痛みや開眼閉眼障害を伴うことが多い）
3. 応急処置をしても異物が全部取れなかったり、涙が2時間以上止まらない

耳の場合

いじりすぎないことがポイント。虫が入った場合は、入った方の耳を上にして、ぬるま湯をゆっくり注ぎます。水が入った場合は、入った方の耳を下にして、軽くトントンと頭を叩いてやると出やすいでしょう。いずれにせよ無理に取ろうとすると、かえって中に押し込んでしまったり、外耳道や鼓膜を傷つける恐れがありますので注意しましょう。

次の場合はすぐに受診して下さい

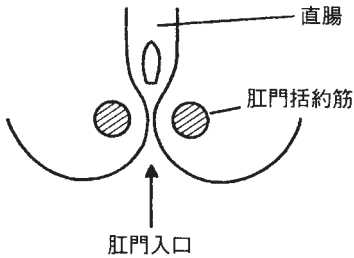
1. 虫・水以外の異物が入った
2. 耳から出血している
3. 入ったものが取れない
4. 耳に触ると泣き出したり、機嫌が悪くなる

*鼻の異物も、耳と同様に、無理に取らないようにしましょう。

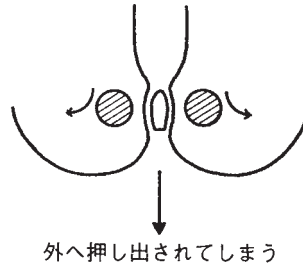
参考資料 坐薬の入れ方

時々、坐薬をうまく入れることができないが、どうすればいいのか……といった質問を受けることがあります。ほとんどの場合、親が恐がって坐薬を浅く入れているのが原因のようです。

○ 坐薬がきちんと直腸に入っている。



× 坐薬が肛門括約筋にはさまれている。



図のように、肛門の周りには肛門括約筋と呼ばれる筋肉があります。この筋肉は、とても強い力で肛門を締めつけていますので、坐薬の入れ方が浅すぎると、外へ押し出されてしまいます。坐薬をうまく入れるには、少し思い切って奥まで入れ、ティッシュで30秒ほど肛門の入口を押さえて、坐薬が外に出てこないようにして下さい。

残った坐薬は冷蔵庫で保管しましょう。

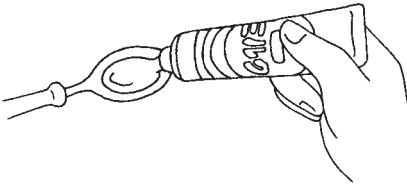


参考資料 薬の上手な飲ませ方

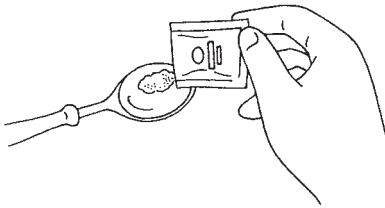
粉薬を嫌がるお子さんへ

①カレー用などの大さめのスプーンを用意します。

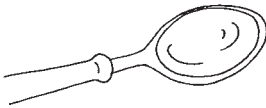
*コンデンスミルク（練乳）は、かき氷にかける普通のを。又は、アイスクリーム・チョコレート・ケーキシロップ・チョコレートクリーム・ピーナッツクリームなど。



②すこし多めに搾り出します。



③上からお薬をのせて



④粉が完全に残らなくなるまで、よくかき混ぜてください。

はい あ～ん

⑤もう一口、コンデンスミルクをそのままあげましょう。

⑥最後に牛乳、お水、ジュースなど、何か飲み物を！

ほーら、にがくなかったよ！！